

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
英文法Ⅱ (English Grammar Ⅱ)	担当教員	嵯峨原 昭次 (Shoji, Sagahara) 鞍掛 哲治 (Tetsuharu, Kurakake) 坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko) 海江田 恵里子 (Kaieda, Eriko) 仮屋 衣里 (Kariya, Eri)	
	教員室	図書棟2階 (Tel. 42-9062) (Tel. 42-9058) (Tel. 42-9067) (内線 2167)	
	E-Mail	sagahara@kagoshima-ct.ac.jp kurakake@kagoshima-ct.ac.jp sakamoto@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義/履修単位/2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100分)×30回		
[本科目の目標] 国際的に通用する英語コミュニケーション能力に必要な基礎英文法知識を習得する。			
[本科目の位置付け] 本科目の中学校で習得した基礎知識の上に、体系的な文法知識を構築する。 本科目は英文法Ⅰの発展的科目である。また英語Ⅱの学習を補完し、日常英会話および科学技術英語の文構造を理解するための基礎力を養うものである。			
[学習上の留意点] 予習・復習を必ず行うこと。予習・復習・小テスト・その他与えられた課題と、講義を通じて英語の構成を理解し、英語運用能力の向上を目指すこと。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. S+V+O+O=if/whether, how節 2. 分詞構文 --- 前期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	左記の文法項目の構造について理解し、適切に使用することが出来る。 授業項目1,2について達成度を確認する。 試験において間違った部分を正しく理解することができる。	当該の単元について、教科書及び参考書を前もって読み、概要を把握してくること。 また、授業中に小テストが実施される場合は、その範囲を学習し備えること。
3. 仮定法過去 4. 関係副詞 --- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	左記の文法項目の構造について理解し、適切に使用することが出来る。 授業項目3,4について達成度を確認する。 試験において間違った部分を正しく理解することができる。	
5. 形式目的語it 6. 比較 --- 後期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	左記の文法項目の構造について理解し、適切に使用することが出来る。 授業項目5,6について達成度を確認する。 試験において間違った部分を正しく理解することができる。	
7. 助動詞 8. 強調構文 9. 否定語+助動詞+S+V (倒置) --- 後期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	左記の文法項目の構造について理解し、適切に使用することが出来る。 授業項目7-9について達成度を確認する。 試験において間違った部分を正しく理解することができる。	

